

大晦日祭 (トシノミ)

菅浦では寺社を中心に、一年中多くの年中行事がおこなわれますが、ここでは12月31日に須賀神社でおこなわれる大晦日祭を取り上げています。

菅浦の人たちは午後7頃から須賀神社の本殿、末社に参拝したのち、拝殿で「トシノミ」をいただきます。トシノミは約75cmの稲穂を5本ほど束にし、根元に浜で拾った小石をくくりつけたものです。いただいたトシノミを1年間自宅の神棚に供えたあと、軒下などに吊るし野鳥に分け与えます。



大晦日祭では家族そろって神社に参拝します。1年の終わりに、家族、そしてムラのつながりを確かめ合い、新しい年を迎えるのです。

本殿で氏子総代(左上)と神主(右上)が守りをしています。菅浦の東組・西組どちらかが当番組となり、その組から年齢順に神主が9人選ばれます。3人ずつ4か月交替(4~7月、8~11月、12~3月)で務めます。神主は毎月1日の朝6時に神社で祝詞を上げます。

編集・発行
長浜市教育委員会 文化財保護センター
〒526-0802 滋賀県長浜市東上坂町981番地
TEL 0749-64-0395 FAX 0749-62-6357
Email bunkazai@city.nagahama.lg.jp
発行日 平成25年3月
平成24年度長浜市文化的景観保存活用整備事業



文化的景観

菅浦

滋賀県長浜市西浅井町

祈りの風景

スガの祭り (須賀神社春季例祭)

スガの祭りは、菅浦で五穀豊穡、集落安全を祈願する須賀神社の春の例祭です。毎年4月第一土、日曜日におこなわれます。スガの祭りは菅浦にとって一番大きな祭りで、この祭りのために多くの人が帰省するほどです。

豪華絢爛な神輿が集落内を巡行するほか、御幣を回して五穀豊穡、集落安全を祈願する幣祭りや神楽など、祭りでは様々な行事がおこなわれます。

一日目

13 13:00- 打合せ

祭りを執行する当番組と氏子総代が集まって祭りの規定などを確認します。



15 15:00- 昇子の抽選・装束つけ

昇子(カッコ)は、担ぐ神輿を籤で決めます。菅浦の50歳くらいまでの男性が昇子の担い手です。



15:40- 祝詞奏上

15:50- ツカイサンの口上

烏帽子をかぶったツカイサンが、東西の御供所を歩き来して、定められた口上を述べます。

16 16:52- 神迎え

ツカイサンの「デヤッシャイマショー」の合図で、東西の御供所から昇子たちが飛び出し神輿を担ぎ出します。神輿を参道途中に下ろすと、本殿から神霊がうつされます。



デヤッシャイマショー



夕方 - 宵宮祭

菅浦の女子によって、神楽が奉納されます。

二日目

13 13:00- 集合

13:30- 祝詞奏上

13:45- ツカイサンの口上

14:30- 神輿巡行 (ムラマワリ)

神輿を担いで集落内を巡行します。各御旅所で祝詞を奏上し、粽と酒が振舞われます。



15 15:50- 祝詞奏上

巡行が終わり神輿が神輿堂に戻ると、祝詞が奏上されます。

16 16:00- 神饌を備える

息がかからないように柿の葉をくわえて、神輿に神饌を供えます。途中ヌマキと呼ばれるムシロにくるまれた人も供えられます。



16:15- 神楽奉納

16:25- 玉串奉納

16:35- 幣祭り (ヘマツリ)

持神主が神輿の前で五穀豊穡・集落安全を祈りながら幣走(ヘバシリ)を三回まわします。



16:55- 幣倒し (ヘタオシ)

公平に倒された幣走を昇子が奪い合い、穢を祓うために地面に叩きつけます。



17 17:00- 神送り

神輿を担いで急な参道を駆け上がり、神霊を本殿に戻します。

神輿巡行 (ムラマワリ)

ムラマワリは祭りの二日目におこなわれます。神輿堂から出た神輿は四カ所の御旅所に立ち寄りながら集落を一周します。



幣走 (ヘバシリ)

スガの祭りで特徴的なものの一つに幣走という大きな御幣が挙げられます。これは祭りの前日、神主組によって作られます。住民によって作られた御幣を、祭りの最後に破却するしきたりは、周辺地域ではあまり見られません。